

わたしと食

国際医療NGO
AMDAL 理事長

菅波 茂さん ④



鶏肉は世界共通の食

AMDALでは、多国籍医師団が活躍しています。途上国の医療支援や生活向上に熱意を持ち、志が同じ者が集まるため、結束力があります。しかし、食べ物との共有だけは難しい。宗教上の制約で、食べられない食材が違うことが多いからです。

日本人は何でも食べることができる方です。ただし刺し身だけは、寄生虫の問題もあり、食べられていると現地の人に嫌悪感を持たれることがあります。無難なところで鶏肉なら、肉食主義を除いてどの宗教も制約がなく、共通の食べ物になります。海外から戻った時は、和食が食べたくありません。帰国したスナッフは、まず和食の店に行きます。

途上国の生活向上には①識字率の向上②健康③土地改革——が欠かせません。健康は食事が得られ、それには農家が農地を持つ土地改革が必要です。その上で、日本の有機農業や品種改良の技術を生かせば、全体的な生活向上につながります。

JALが持つ農業振興力は海外でも求められています。JALの組織力と知識を生かして国際貢献に参加してもらいたいです。

(おむら)